

エネルギーの地産地消（案） ※H23905時点

～地域における発電と節電～

●● 背景 ●●●●

市では、環境基本計画、地球温暖化防止実行計画、新エネルギービジョンにおいて、新エネルギーの導入や省エネ活動の普及等を位置づけ、取組を進めてきましたが、東日本大震災（東京電力福島第一原子力発電所事故）により、電力を取り巻く環境は大きく変化しました。

今日、私たちの生活・事業活動は、電力なしでは成り立たないものとなっています。

電力問題は、まさに生活問題であり、わたしたちひとりひとりが自らの問題として捉え、国や電力事業者とともに、取り組むことが大切です。

このことから、市では、地域としての電力問題への取組として、「エネルギーの地産地消」を進めます。

●● 電力使用の現状 ●●●●

※民生・産業別使用構造（表）

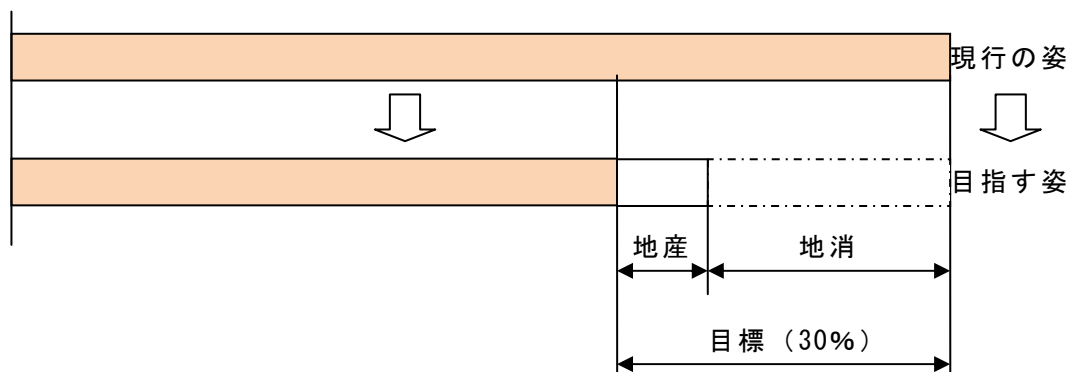
※左記（表）の円グラフ

※家庭部門の円グラフ

●● エネルギー地産地消プロジェクト ●●●●

○ 目指す姿

市内電力使用量について、地産により産み出す量と、地消により削減する量をあわせて、30%の効果を目指します。



○ 地産地消プロジェクト

目指す姿の実現には、さまざまな設備投資や生活スタイルの転換などを必要とし、中長期的に継続して取り組むことが大切です。

エネルギーを取り巻く環境として、国においてはエネルギー政策の見直しが行われており、また、新エネルギーなどにおける研究・技術も、年々進化しています。

そのような状況の中、目指す姿の実現に向けた市の取組の第一歩として、平成26年度までに取り組むことを示すものです。

■■ 地産プロジェクト ■■■■

地域の中で、自ら電力エネルギーを生み出すプロジェクト

■■ 地消プロジェクト ■■■■

日ごろの生活や事業活動等における電力エネルギー消費を見直すプロジェクト

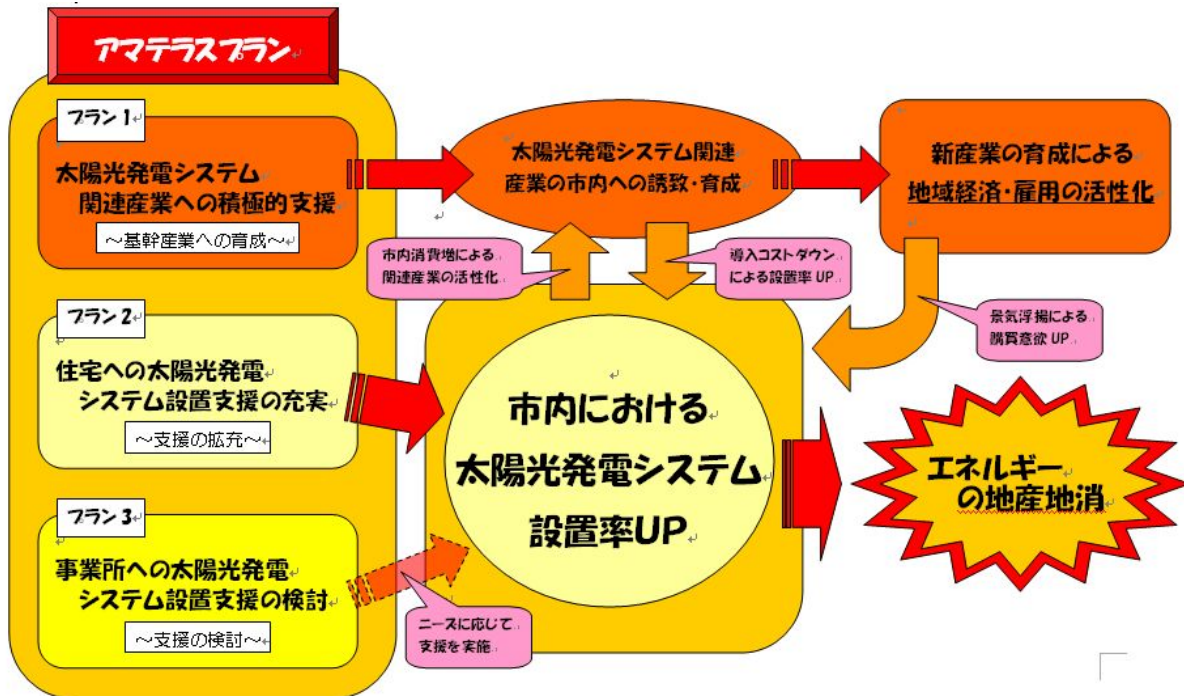
Plan 01 アマテラスプランの推進

伊勢市における太陽光発電の期待可採量（注）は、市内使用電力の90%程度に相当する約15万MWhと推計されています。

このことから、地域での太陽光発電設備の普及のため促進します。

8/5、8/9 審議会WGにおける意見等に基づく修正を調整中

《事業イメージ》



★産業育成プロジェクト 【H〇〇～ 予算額見込 〇〇円】

地場産業支援、新分野進出支援などを通じ太陽光発電関連産業を活性化させることで、企業誘致効果もあげながら、地元経済そのものを活性化していきます。

★住宅設置支援プロジェクト 【H〇〇～ 予算額見込 〇〇円】

太陽光発電システム設置に係る市民負担の軽減や、啓発活動の強化、また設置事例研究などを通じて住宅への太陽光発電システム普及率を高めていきます。

★事業所設置支援プロジェクト 【H〇〇～ 予算額見込 〇〇円】

他市事例調査等を実施するなど、事業所への設置支援のあり方を検討する仕組みを作るとともに、公共施設でのシステム設置促進等を通じた有用性実証等を通じ、事業所への太陽光発電システム普及率を高めていきます。

Plan 02 メガソーラーの設置研究

★メガソーラー誘致検討プロジェクト

現在、国において全量買取法案が審議されており、発電事業目的での太陽光発電の事業環境が、大きく変化する可能性があります。

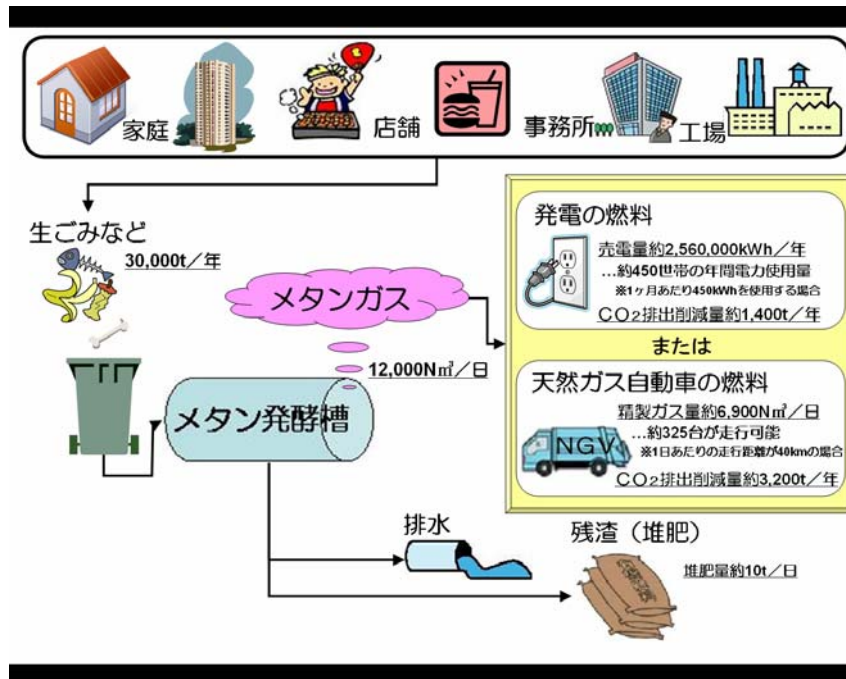
このことから、法案審議の状況に注視し、三重県などと連携して、メガソーラーの誘致の検討を行います。

Plan 03 生ごみメタン化の研究

★生ごみメタンプロジェクト 【H〇〇～ 予算額見込 〇〇円】

生ごみは、発酵させることで、メタンガスを生みだすことができ、これにより発電することもできます。

これまで市では、伊勢商工会議所と連携し、生ごみの分別実験等、検討を進めてきましたが、事業化には、プラント建設など多額の費用を必要とすることから、事業内容の詳細を定め、採算性等の検証を行います。



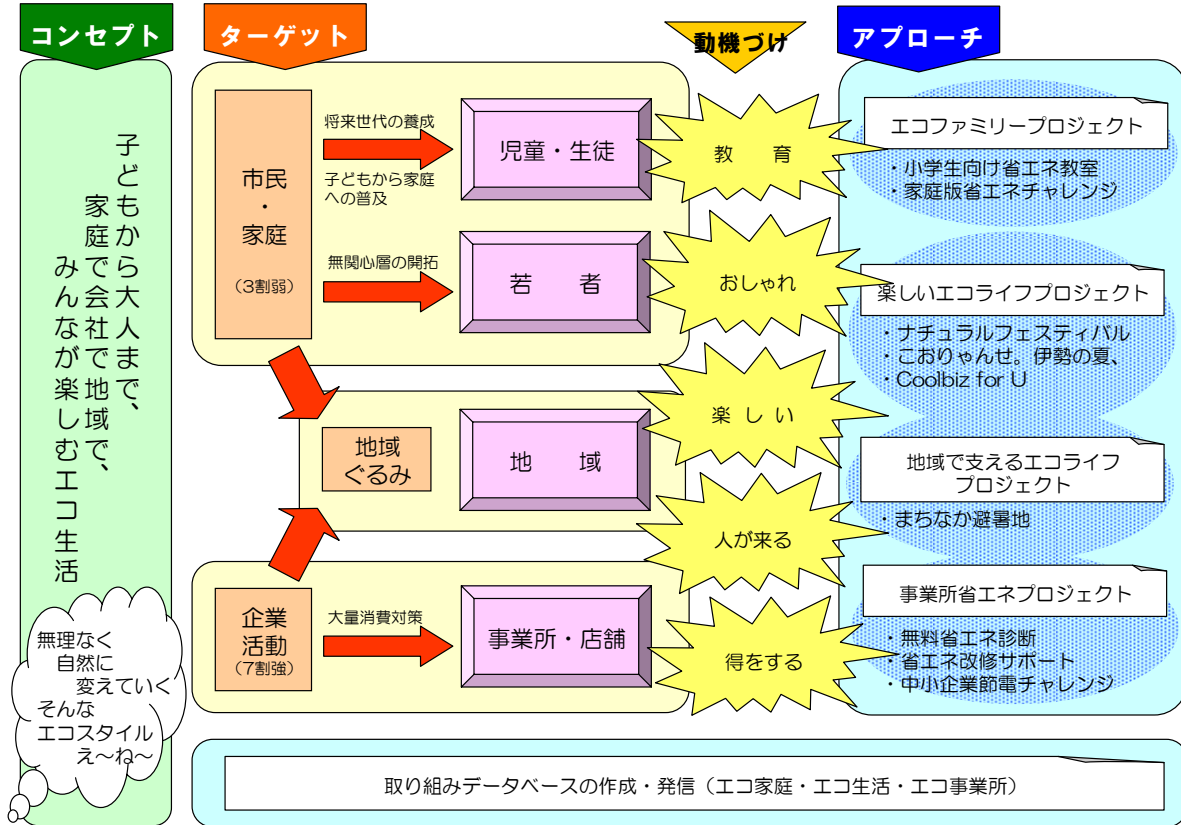
==== 長期展望 =====

風力やバイオマスといった新エネルギー等に関する情報把握・調査研究を行います。

また、各取組を、より充実し、効率的・効果的に推進するための、財源確保の在り方を含む実施体制についての研究を、継続的に行います。

Plan 05 省エネ・節電の啓発

一過性でなく、エコ生活の文化を根付かせるため、子どもから大人まで、家庭で会社で地域で、みんなが楽しくエコ生活を実践するための取組を実施します。



★エコファミリープロジェクト 【H〇〇～ 予算額見込 〇〇円】

毎日の節電活動チェックを行い、日々の生活を見つめなおしていただく「エコファミリー事業」を展開します。

★楽しいエコライフプロジェクト 【H〇〇～ 予算額見込 〇〇円】

無理なく自然にエコ生活を実践できる感性を養い、また、文化としての定着を目指して、自然を楽しむイベントや、coolbizのPR等を実施します。

★地域で支えるエコライフプロジェクト 【H〇〇～ 予算額見込 〇〇円】

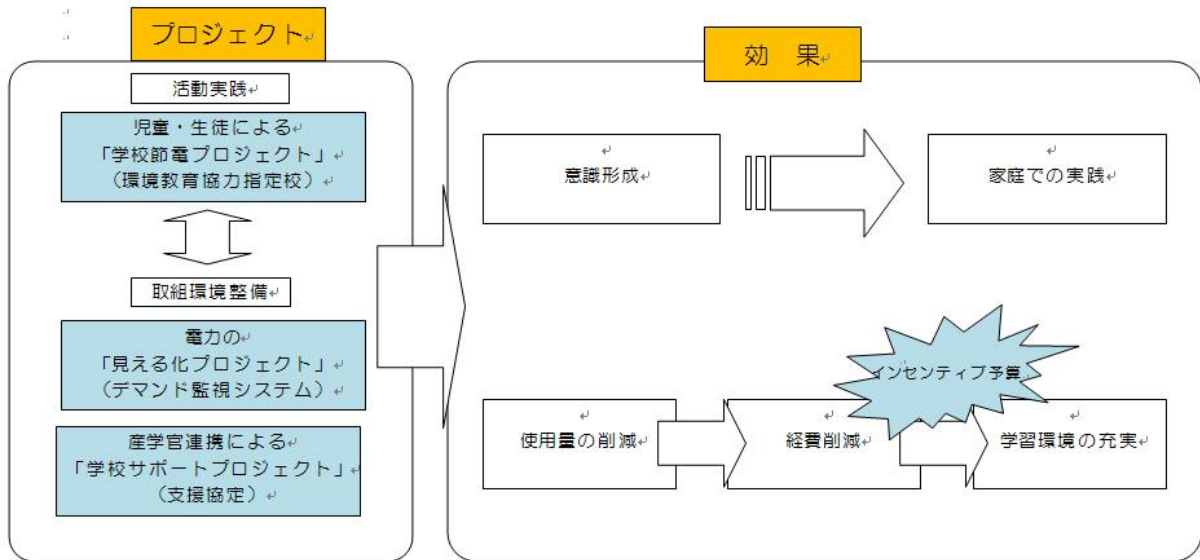
地域としての節電環境をつくるため、商業施設や地域拠点施設などによる「まちなか避暑地」づくりを行います。

★事業所省エネプロジェクト 【H〇〇～ 予算額見込 〇〇円】

事業所の省エネ化を支援するため、省エネ診断の斡旋を行い、また、診断結果に基づく改修への支援を行います。

Plan 06 次世代育成（環境教育）

次代を担う子どもたちの環境・エネルギーに関する知識・意識を養うため、学校現場での学びを充実します。



★学校節電プロジェクト 【H〇〇～ 予算額見込 〇〇円】

各学校に、特色ある実践活動を促すとともに、活動を支援します。

★電力「見える化」プロジェクト 【H〇〇～ 予算額見込 〇〇円】

学校施設の電力使用量管理のため、また、児童生徒の学びの環境整備として、小中学校 36 校全校に、電力デマンド監視システムを導入します。

★学校サポートプロジェクト 【H〇〇～ 予算額見込 〇〇円】

民間事業者が有する情報・素材等の活用を図り、より充実した環境教育を実現します。

★学習環境充実プロジェクト 【H〇〇～ 予算額見込 〇〇円】

各校の取組により削減された経費については、学習環境の充実に活用する仕組みを導入します。

Plan 07 市役所の率先実行

★率先実行プロジェクト 【H〇〇～ 予算額見込 〇〇円】

市では、環境管理システムを運用し、エネルギーの節減に努めてきましたが、今後は、より一層、取組の徹底を図ります。

また、投資効果の検証等を行い、照明のLED化などの省エネ改修を、計画的に実行します。

＝＝＝ 長期展望 ＝＝＝＝＝＝

スマートグリッド、エネルギーのベストミックスなど、電力需給の最適化や、ガスなどの他エネルギーも含めたエネルギーの需給体制についての検討を行います。

資料：事業詳細（案）

=== 留意点 ===

- ※ ここに掲載している事業詳細（案）は、地産地消プロジェクトとして実施しようとする取組の具体案として検討中のものです。
- ※ 今後、予算の確保、関係者の合意等、実施に向けた調整を行うものであり、実施及び内容が確定したものではありません。